

平成 20 年 5 月 8 日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社

代表取締役社長 山口浩行

(コード番号：3390)

問合せ先 経営企画部長 村上孝徳

電話番号 03-3568-1305

**特別損失及び貸倒引当金及び一部ソフトウェア資産の  
償却方法の変更による費用計上並びに  
通期業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 20 年 3 月期において、下記の通り有価証券評価損計上、及び貸倒引当金計上、一部ソフトウェア資産の償却方法の変更による費用計上を行うことといたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 2 月 14 日に公表しました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の出資先であり、セキュリティ関連事業のパートナーである株式会社リンク・ジェノミクスの当期の業績及び財政状態等を勘案し株式評価損約 1 億 9 百万円を特別損失に計上することといたしました。

2. 貸倒引当金計上について

長期延滞債権の担保価値を見直した結果、約 2 7 百万円を貸倒引当金として計上することといたしました。

3. 一部ソフトウェア資産の償却方法変更による費用計上について

当社の保有する ASP サービス用ソフトウェア資産のうち、今期より新たに開始したソフトウェアのライセンス販売\*1について、当社監査法人と協議を行った結果、販売を行ったソフトウェア資産を市場販売目的のソフトウェアと認識し、「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」に準拠し償却方法を従来の 5 年で均等額を償却する方法から販売可能有効期間(3 年)の見込販売収益に基づく償却額と残存有効期間に基づく均等配分額とを比較し、いずれか大きい額を償却費として計上する方法に変更いたしました。これにより当会計期間において約 4 3 百万円を追加で費用計上することといたしました。

4. 平成 20 年 3 月期 業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	2,297	△443	△451	△457
今回修正 (B)	2,309	△499	△506	△622
増減額 (B-A)	12	△56	△55	△165
増 減 率	0.5%	△12.6%	△12.2%	△36.1%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	2,512	△316	△327	△363

5. 修正理由

売上高につきましては、ほぼ平成 20 年 2 月 14 日発表の前回予想通りに推移いたしました。上記「1.～3.」に記載の通り、当期において有価証券評価損による特別損失の計上、長期延滞債権に関して担保による債権の保全が不十分な部分の貸倒引当金の計上、さらに一部ソフトウェア資産の償却方法を変更することによる費用の増大により、営業利益、経常利益および当期純利益について前回発表の業績予想を下回る見通しとなりました。

[\* 1]

ASP ソフトウェアのライセンス販売とは、従来 ASP 方式で提供していた各種業務ソフトウェアをライセンス方式で提供する販売形態のことをいいます。ASP 方式の場合、他のお客様との共有アプリケーション部分が存在するため、お客様からカスタマイズのご要望があっても完全にはお応えすることができませんでした。これに対して、ライセンス方式の場合、お客様専用のシステムとなりますので、完全にお客様のご要望どおりにカスタマイズし、お客様固有のシステムを構築することが可能となります。これによって、お客様は従来よりも一層柔軟かつオリジナルなソリューションシステムとして利用することが可能となります。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在における経済動向や市場環境をはじめとした情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上